死を見つめることは、 今をどう生きるかを問うこと。

誰しもが終わりを迎えるからこそ、チャレンジを恐れず、思いやりと、誰かの心に残る思い出を遺していきたい。

スナックという日常の場で交わされる終活の対話は、ユーモアとあたたかさがにじみ、重くなりがちなテーマを優しくほどいてくれます。 (20代女性)



な最期を迎えるために何



めめんともりLINE@は こちらから